

学習指導要領	都立永山高校 学カスタンダード
(1) 原始社会の特色及び古代国家と社会や文化の特色について、国際環境と関連付けて考察させる。 ア 歴史と資料 遺跡や遺物、文書など様々な歴史資料の特性に着目し、資料に基づいて歴史が叙述されていることなど歴史を考察する基本的な方法を理解させ、歴史への関心を高めるとともに、文化財保護の重要性に気付かせる。 イ 日本文化の黎明と古代国家の形成 旧石器文化、縄文文化及び弥生文化の時代を経て、我が国において国家が形成され律令体制が確立する過程、隋・唐など東アジア世界との関係、古墳文化、天平文化に着目して、古代国家の形成と展開、文化の特色とその成立の背景について考察させる。 ウ 古代国家の推移と社会の変化 東アジア世界との関係の変化、 荘園・公領の動きや武士の台頭など諸地域の動向に着目して、古代国家の推移、文化の特色とその成立の背景及び中世社会の萌芽^{ほうが}について考察させる。	〔歴史と資料〕 ・各時代を代表する遺跡や各時代を特色付ける遺物、文献資料などから、歴史は資料から叙述されており、それが歴史を考察する基本的な方法であることを理解するとともに、文化財保護の重要性を知る。 〔日本文化の黎明〕 ・旧石器文化と縄文文化の特色を食料資源や使用した道具の違いによって区別できる。また、呪術的な風習が行われたことを知る。 ・水稻耕作の開始と金属器の使用に着目し、弥生文化の特色について知る。 〔古代国家の形成と展開、文化の特色と背景〕 ・小国が形成され、互いの抗争の中で邪馬台国が統合したことを知る。 ・大和政権の成立と国内統一の過程を知る。 ・推古朝の政治、遣隋使の派遣や飛鳥文化の特色を知る。 ・大化改新、壬申の乱を経て、律令に基づく国内統治体制が整備されたことを知る。 ・平城京遷都、遣唐使、国分寺建立や藤原氏の政界進出について知る。 ・天平文化の特色を知る。また、造寺・造仏や記紀の編纂が国家事業として進められたことを知る。 〔古代国家の推移〕 ・平安京遷都や東北経営の二大政策が進められたことを知る。 ・摂関政治全盛期の藤原道長・頼通の政治について整理し、摂関政治が藤原氏による外戚政治であることを知る。 〔文化の特色とその成立の背景〕 ・弘仁・貞観文化の特色を知る。 ・仮名文字による和歌や女流文学の発達、浄土教の変容や貴族の生活などから日本の風土や生活に適合した新しい貴族文化が進展したことを知る。

学習指導要領	都立永山高校 学カスタンダード
中世国家と社会や文化の特色について、国際環境と関連付けて考察させる。 ア 歴史の解釈 歴史資料を含む諸資料を活用して、歴史的事象の推移や変化、相互の因果関係を考察するなどの活動を通して、歴史の展開における諸事象の意味や意義を解釈させる。 イ 中世国家の形成 武士の土地支配と公武関係、宋・元などとの関係、仏教の動向に着目して、中世国家の形成過程や社会の仕組み、文化の特色とその成立の背景について考察させる。 ウ 中世社会の展開 日本の諸地域の動向、日明貿易など東アジア世界との関係、産業経済の発展、庶民の台頭と下剋上、武家文化と公家文化のかかわりや庶民文化の萌芽に着目して、中世社会の多様な展開、文化の特色とその成立の背景について考察させる。 (2) 中世の日本と東アジア	〔中世社会の萌芽〕 ・ 寄進地系荘園の発生について知る。 ・ 武士の登場について知る。 〔歴史の解釈〕 ・ 基本的な資料を活用し、「何が」「いつ」「どのように」移り変わっていったのか検討し、「なぜ」そのような出来事や変化が生じたのかを考察する。 〔中世国家の形成過程や社会の仕組み〕 ・ 摂関政治に代わって院政が開始されたことを知る。 ・ 平氏政権の成立について知る。 ・ 源平の争乱と鎌倉幕府の成立について知る。 ・ 北条氏の台頭と執権政治について知る。 ・ 武士社会における御成敗式目の制定、惣領制について知る。 ・ 蒙古襲来と御家人の窮乏について知る。 〔文化の特色とその成立の背景〕 ・ 院政期に新たな文化が芽生えたことを知る。 ・ 新仏教が成立したことを知る。 ・ 大陸伝来の新技術、武士や庶民を題材にした文学や絵巻物が作成されたことを知る。 〔中世社会の多様な展開〕 ・ 建武の新政と南北朝動乱について知る。 ・ 守護大名の登場と室町幕府の成立について知る。 ・ 応仁の乱後、下剋上の風潮の中で戦国大名が生まれたことを知る。 ・ 勘合貿易の内容について知る。 〔文化の特色とその成立の背景〕 ・ 諸産業と流通や地域経済が発達したことを知る。 ・ 南北朝文化・北山文化・東山文化の特色を知る。 ・ 文化の地方普及と都市の形成について知る。

	学習指導要領	都立永山高校 学カスタンダード
(3) 近 世 の 日	近世国家と社会や文化の特色について、国際環境と関連付けて考察させる。 ア 歴史の説明 歴史的事象には複数の歴史的解釈が成り立つことに気付かせ、それぞれの根拠や論理を踏まえて、筋道立てて考えを説明させる。 イ 近世国家の形成 ヨーロッパ世界との接触やアジア各地との関係、織豊政権と幕藩体制下の政治・経済基盤、身分制度の形成や儒学の役割、文化の特色に着目して、近世国家の形成過程とその特色や社会の仕組みについて考察させる。 ウ 産業経済の発展と幕藩体制の変容 幕藩体制下の農業など諸産業や交通・技術の発展、町人文化の形成、欧米諸国のアジアへの進出、学問・思想の動きに着目して、近世の都市や農山漁村における生活や文化の特色とその成立の背景、幕藩体制の変容と近代化の基盤の形成について考察させる。	〔歴史の説明〕 ・歴史的事象には複数の歴史的解釈が存在することを、それぞれの解釈を述べた書物・論文などを読み理解する。 〔近世国家の形成とその特色や社会の仕組み〕 ・織豊政権の統一事業の過程での代表的な戦いや、検地・刀狩などの国内政策や外交政策について知る。 ・桃山文化の特色を知る。 ・江戸時代に全国支配を行ったのは、徳川將軍を中心とした江戸幕府であることを知る。 ・鎖国はどのような体制であったかを知る。 〔産業経済の発展や文化の特色〕 ・元禄時代の政治や正徳の治の代表的な政策を知る。 ・農業中心に経済が発展し、交通や貨幣制度が整備されたことを知る。 ・元禄文化の特色を知る。 ・享保の改革や田沼政治の代表的な政策を知る。 ・宝暦・天明期の文化の特色を知る。 〔幕藩体制の変容と近代化の基盤形成〕 ・寛政の改革や天保の改革の代表的な政策を知る。 ・列強の接近が幕府を中心とした国内の支配体制を脅かしたことを知る。 ・改革に成功した薩摩藩・長州藩などの雄藩の台頭について知る。 ・化政文化の特色を知る。

	学習指導要領	都立永山高校 学カスタンダード
本 と 世 界	近代国家の形成と社会や文化の特色について、国際環境と関連付けて考察させる。 ア 明治維新と立憲体制の成立 開国と幕府の滅亡、文明開化など欧米の文化・思想の影響や国際環境の変化、自由民権運動と立憲体制の成立に着目して、明治維新以降の我が国の近代化の推進過程について考察させる。 イ 国際関係の推移と立憲国家の展開 条約改正、日清・日露戦争とその前後のアジア及び欧米諸国との関係の推移に着目して、我が国の立憲国家としての展開について考察させる。 ウ 近代産業の発展と近代文化 国民生活の向上と社会問題の発生、学問の発展や教育制度の拡充に着目して、近代産業の発展の経緯や近代文化の特色とその成立の背景について考察させる。	〔開国と幕府の滅亡〕 ・ペリー来航と日米和親条約調印により、幕府が鎖国政策を改めたことを知る。 ・日米修好通商条約が不平等条約であったことを具体的な内容を通して知る。 ・開国後の政治情勢の中で尊皇攘夷派と公武合体派の対立があったことを知る。 ・徳川慶喜が、大政奉還を願い出たことを知る。 〔明治新政府の近代化の推進過程〕 ・新政府が五箇条の御誓文、五榜の掲示を出したことを知る。 ・廃藩置県、四民平等、徴兵制、地租改正などについて、それぞれの内容とその目的について知る。 〔文明開化〕 ・欧米文化が導入され、人々の生活が変化していったことを知る。 ・朝鮮、琉球や樺太千島など領土を画定していったことを知る。 〔自由民権運動と立憲体制の成立〕 ・不平士族の反乱が自由民権運動につながっていったことを知る。 ・大日本帝国憲法の制定及び内容について知る。 〔条約改正〕 ・不平等条約改正の課題を理解し、交渉の経過を知る。 〔日清・日露戦争とその前後のアジア〕 ・朝鮮の支配権をめぐり清と対立し、日清戦争が始まったことを知る。 ・日清戦争を機に初の政党内閣が成立したことを知る。 ・列強の中国分割が進行し、ロシアが満州と韓国に勢力を拡大する中で、日本がイギリスと同盟を結んだことで日露戦争が不可避となったことを知る。 ・日本が韓国併合や満州への勢力拡張などを通して、植民地支配を進めたことを知る。 〔近代産業の発展〕 ・日本の産業革命の主役となったのは紡績業と製糸業であり、日清・日露戦争を通して重工業が発展していくことを知る。

	学習指導要領	都立永山高校 学カスタンダード
(4) 近代 日本 の形 成と 世界	近代国家の展開と社会や文化の特色について、国際環境と関連付けて考察させる。 ア 政党政治の発展と大衆社会の形成 政治や社会運動の動向、都市の発達と農山漁村の変化及び文化の大衆化に着目して、政党政治の発展、大衆社会の特色とその成立の背景について考察させる。 イ 第一次世界大戦と日本の経済・社会 国際社会の中の日本の立場に着目して、第一次世界大戦前後の対外政策の推移や大戦が国内の経済・社会に及ぼした影響について考察させる。 ウ 第二次世界大戦と日本 国際社会の動向、国内政治と経済の動揺、アジア近隣諸国との関係に着目して、対外政策の推移と戦時体制の強化など日本の動向と第二次世界大戦とのかかわりについて考察させる。	〔近代文化の特色〕 ・自然科学の分野において、世界的な業績を挙げたことを知る。 ・明治時代の思想界の動向について知る。 ・明治期の文学や芸術の大きな流れについて知る。 〔政党政治の発展〕 ・第一次護憲運動によって内閣が倒されたことを知る。 ・ロシア革命とシベリア出兵、米騒動との関係について知る。 ・初の本格的な政党内閣が組織されたことを知る。 ・第二次護憲運動の結果、護憲三派内閣が成立し、以後、政党内閣が続いたことを知る。 ・社会主義運動、労働運動、農民運動、部落解放運動、女性の地位向上を目指す運動などの動向を知る。 〔大衆社会の形成〕 ・教育が普及するとともに、都市化と大衆化が進み、ラジオや映画や雑誌などの大衆文化が誕生したことを知る。 〔第一次世界大戦前後の対外政策の推移〕 ・第一次世界大戦以前の国際関係・戦禍や影響を知るとともに、日本が三国同盟を理由に宣戦布告したことを知る。 ・パリ講和会議とワシントン会議及び幣原外交について知る。また、五・四運動、三・一独立運動について知る。 〔国内の経済・社会に及ぼした影響〕 ・大戦景気とそれによる社会・産業構造の変化について知る。 〔対外政策の推移〕 ・世界恐慌の発生やその対応策について知る。 ・国際社会の中の全体主義の台頭・民族運動の進展について知る。 ・国家主義の台頭による軍部の政界への進出について知る。 ・金融恐慌から昭和恐慌に至る経緯について知る。 ・日本の対外政策について知る。 〔戦時体制の強化と第二次世界大戦〕 ・中国との戦争の経緯について知る。 ・全体主義的な国家体制が進展し、英米等との戦争に

	学習指導要領	都立永山高校 学カスタンダード
(5) 両 世 界 大 戦 期 の 日 本 と 世 界	現代の社会や国民生活の特色について、国際環境と関連付けて考察させ、世界の中での日本の立場について認識させる。 ア 現代日本の政治と国際社会 占領政策と諸改革、新憲法の成立、平和条約と独立、国際交流や国際貢献の拡大などに着目して、我が国の再出発及びその後の政治や対外関係の推移について考察させる。 イ 経済の発展と国民生活の変化 戦後の経済復興、高度経済成長と科学技術の発達、経済の国際化、生活意識や価値観の変化などに着目して、日本経済の発展と国民生活の変化について考察させる。 ウ 歴史の論述 社会と個人、世界の中の日本、地域社会の歴史と生活などについて、適切な主題を設定させ、資料を活用して探究し、考えを論述する活動を通して、歴史的な見方や考え方を身に付けさせる。	拡大していったことを知る。 〔我が国の再出発〕 ・GHQによる間接統治と実質的なアメリカ単独占領などについて知る。 ・連合国の占領政策が途中で転換したことを知る。・日本国憲法の内容と特色について知る。 ・サンフランシスコ平和条約によって日本が独立し、日米安全保障条約の締結により日米安保体制が築かれたことを知る。 〔政治や対外関係の推移〕 ・日ソ共同宣言、国際連合への加盟、日韓基本条約、沖縄返還、日中国交回復など独立後の日本の外交政策について知る。 ・日本が行っているODA、PKOなどの国際貢献について知る。 〔日本経済の発展と国民生活の変化〕 ・戦後の経済復興の過程を知る。 ・高度経済成長、石油危機を経て世界有数の経済大国となった経緯を知る。 ・消費生活の拡大、自動車の普及、核家族化などによる家庭生活の変化や教育水準の向上・科学技術の発達に伴う生活水準の向上などにより、国民生活はどのように変貌したかを知る。 〔歴史の論述〕 ・社会と個人、世界の中の日本、地域社会の歴史と生活などについて、社会生活にかかわる具体的な主題を自ら設定し、史・資料を活用しながら自分なりの解答を文章で表現できる。